

歯科医師国家試験の変遷（第1回【昭和22年】～）

		第1期				第2期				第3期	第4期		第5期	第6期	第7期		第8期	第9期	第10期	第11期	
回数		1～2	3～4	5～6	7～12	13～16	17～22	23～30	31～34	35～46	47～58	59～70	71～72	73～78	79～82	83～86	87～90	91～94	95～98	99～102	103～
年		S22	23	24	25～27	28～29	30～32	33～36	37～38	39～44	45～50	51～56	57	58～60	61～H1	2～5	6～9	10～13	14～17	18～21	22～
年間試験実施回数		2回				2回				2回	2回		2回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
筆記試験の実施日数		2.5日	3.5日	2.5日		2日		1日			1日	1日		1.5日	1.5日		1.5日	2日	2日	2日	2日
試験内容	試験科目	基礎	2科目		4科目	5科目	3科目			5科目		(臨床系学科に含まれる)				(総論に含まれる)		歯科医学・歯科保健医療総論、歯科医学・歯科保健医療各論（科目別出題の廃止）		歯科医学総論、歯科医学各論	
		臨床学説	5科目（口腔外科、保存、補綴、矯正、口腔衛生）									7科目（左記の5科目に小児歯科、歯科放射線を追加）			8科目（左記の7科目に歯科医学・医療総論を追加）						
		臨床実技（実地）	3科目（口腔外科、保存、補綴）									2科目（保存、補綴）		昭和57年に廃止、昭和58年以降は臨床実地							
		臨床実地	昭和57年以前は実技（実地）試験（昭和57年は実技試験と臨床実地）										15問	60問	60問	60問	80問	100問	105問		
	必修																	30題	50題	70題	
	試験計	科目	5	7	9	10	8		10		5	7	7	7	8		平成9年に科目別出題が廃止、平成10年以降は域別出題				
		設問数	50	70	35	60	32	24	25	15	180	195	260	260	280	280	330	365	365		
		解答	全問			選択	全問	選択			全問	全問	全問	全問	全問	全問	全問	全問	全問		
	試験方法	解答	論述式	昭和51年以降は客観的多肢選択形式を採用、105回は計算問題を導入予定																	
			客観式	昭和50年以前は論述形式																	
実技（実地）試験		口腔外科	診査	昭和50年に廃止、昭和58年以降は臨床実地問題を採用																	
		試験	問																		
		保存	実技	昭和57年に廃止、昭和58年以降は臨床実地問題を採用																	
補綴	実技	昭和57年に廃止、昭和58年以降は臨床実地問題を採用																			
禁忌肢																		平成14年より導入			